

令和4年12月5日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）における 研究開発課題の募集開始について

JST（理事長 橋本 和仁）は、内閣府および文部科学省が定めた研究開発構想を受け、経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）における研究開発課題募集を令和4年12月5日（月）から開始します。

K Programでは、中長期的に日本が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術を育成するため、国が定めた研究開発ビジョンに基づき研究開発を実施します。

研究開発ビジョン（第一次）は、経済安全保障推進会議および統合イノベーション戦略推進会議合同会議において本年9月に決定されました。このビジョンを受けて、内閣府および文部科学省が本年10月に研究開発構想を作成しました。JSTは両府省から示された研究開発構想に基づき、本募集を行います。

今回、JSTが研究開発課題を募集する研究開発構想（プロジェクト型）は以下の通りです。

- （1）「無人機技術を用いた効率的かつ機動的な自律型無人探査機（AUV）による海洋観測・調査システムの構築」
- （2）「災害・緊急時等に活用可能な小型無人機を含めた運航安全管理技術」

プログラム・ディレクター（PD）が、研究開発ビジョンの達成と研究開発構想の実現に向けて、研究開発課題の実施を指揮・監督します。研究開発課題の募集は、令和4年12月5日（月）～令和5年2月7日（火）正午まで研究開発構想ごとに実施し、PDが外部有識者らの協力を得ながら選考を行います。

研究開発ビジョン（第一次）に係る研究開発構想は今後も両府省から示される予定であり、JSTではそれに基づき、研究開発課題の募集を順次開始する予定です。

詳細はK Programのウェブサイトをご覧ください。

URL：<https://www.jst.go.jp/k-program/koubo/>

※本年10月に内閣府ウェブサイトにて公表されたK Programの研究開発構想

URL：[https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen\\_anshin/anzen\\_anshin.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/anzen_anshin/anzen_anshin.html)

**<添付資料>**

別紙：経済安全保障重要技術育成プログラムにおける研究開発課題募集の概要

**<お問い合わせ先>**

科学技術振興機構 先端重要技術育成推進部

小西 隆（コニシ タカシ）

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 九段センタービル

Tel : 03-3512-3522 Fax : 03-3512-7994

E-mail : k-program\_koubo[at]jst.go.jp

※電子メールでお問い合わせください。

## 経済安全保障重要技術育成プログラムにおける 研究開発課題募集の概要

### 1. 事業の趣旨

K P r o g r a mでは、中長期的に日本が国際社会において確固たる地位を確保し続ける上で不可欠な要素となる先端的な重要技術について、経済安全保障推進会議および統合イノベーション戦略推進会議が定めた研究開発ビジョンの実現に向け、内閣府および文部科学省が定めた研究開発構想に基づき、研究開発を実施します。

また、K P r o g r a mは経済安全保障推進法における特定重要技術の研究開発の促進およびその成果の適切な活用を目的とする事業に位置付けられています。

### 2. 事業の特徴

研究開発構想には、重要技術の獲得を目指す比較的大規模な研究開発プロジェクトの研究開発構想（プロジェクト型）と、重要技術となり得る要素技術や研究開発プロジェクトの高度化に資する要素技術などの獲得を目指す個別研究の研究開発構想（個別研究型）があります。

研究開発構想（プロジェクト型）に関してはプログラム・ディレクター（P D）が、研究開発構想（個別研究型）に関してはプログラム・オフィサー（P O）が、研究開発ビジョンの達成および研究開発構想の実現に向けて、研究開発課題の実施を指揮・監督します。

また、関係府省との情報共有や意見交換の場などとして協議会が設置される予定です。

### 3. 募集期間

令和4年12月5日（月）～令和5年2月7日（火）正午

### 4. 今回J S Tが研究開発課題を募集する研究開発構想（プロジェクト型）

- （1）「無人機技術を用いた効率的かつ機動的な自律型無人探査機（A U V）による海洋観測・調査システムの構築」

P D：高木 健（東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授）

- （2）「災害・緊急時等に活用可能な小型無人機を含めた運航安全管理技術」

P D：大林 茂（東北大学 流体科学研究所 教授）

本年10月に定められた研究開発構想のうち、今回研究開発課題を募集するのは上記2つのみとなります。その他の研究開発構想についても、順次、決定される予定であり、それに基づき、J S Tでは研究開発課題の募集を開始します。

※募集内容の詳細はK P r o g r a mのウェブサイトから公募要領を参照してください。

## 5. 提案の受付方法

### <応募方法>

「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」により受け付けます。

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）ポータルサイト

URL : <https://www.e-rad.go.jp/>

### <公募要領、選考スケジュール>

詳細はK Programのウェブサイトを参照してください。

URL : <https://www.jst.go.jp/k-program/koubo/>

K Programにおける研究開発の推進にかかる業務を行う研究推進法人はJSTおよび新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）となります。

NEDOが行うK Programの公募情報は下記ウェブサイトを参照してください。

URL : <https://www.nedo.go.jp/activities/k-program.html>

## 6. 募集に関するお問い合わせ先

科学技術振興機構 先端重要技術育成推進部

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 九段センタービル

Tel : 03-3512-3522 Fax : 03-3512-7994

E-mail : [k-program\\_koubo\[at\]jst.go.jp](mailto:k-program_koubo@jst.go.jp)

※電子メールでお問い合わせください。